

好調な投資環境のいまだから聞かれる相談を紹介！

# こんな悩みを持つお客様に こうアドバイスを行おう

いまお客様が抱えている悩みを挙げて、  
どんなアドバイスが適切か解説します。

①② 塩川治明  
③～⑤ 金指光伸

⑥～⑨ 木内清章  
(横浜港北行政書士法人)



資産運用を始めた目的や当初の目標を思い出してもらいましょう。「この投資信託で必ず資産を2割増やすんだ」という確固たる目標を持って購入していれば、その目標に達しているかどうかで判断できると思います。

ただし、実際にはそのようなお客様は少ないはず。金融機関の担当者は、お客様が「利益を出す」という目標は達成できたが、これから先、売却か、継続保有か、何を判断材料にすればよいのか分からぬ」と悩んでいれば、その気持ちを理解し、ヒアリングを行うっていきましよう。

ここからは、お客様ごとに案内

## 1 悩み

利益が出ていたので売却したほうがいいの？  
それとも保有したままのほうがいいのか？



## お

お客様の多くは、投資信託の買い買いに慣れておらず、投資信託を購入するタイミング以上に、売却するタイミングについて頭を悩ませています。

そもそもお客様が投資信託を購入し資産運用を始めた理由は、何でしょうか。投資信託を購入するお客様に共通していることは、元本割れをする可能性は理解しているものの、余裕資金を増やしたいという考えです。

大半の投資信託はそもそも満期がなく、運用益も確定していない金融商品です。この点を踏まえて、現状出ている利益にお客様が満足しているのであれば、ここで一旦換金して利益金額を確定するように案内してもよいでしょう。

その後、今後、どのように資産運用を行っていくのか、改めて一緒に考えていきましょう。

とはいえ、本ケースのお客様のように、利益が出るとどうして

「ひよっとしたらもっと上がるかもしれない」と考えてしまうものです。特に、リーマン・ショックなどで大きな損失を経験して、アベノミクスのおかげでやっと利益が出るところまで来たというお客様であれば、なおさら悩んでしまうかもしれません。

**利益が目標に達しているか  
まず確認してもらおう**

本ケースのようなお客様には、

する内容がガラリと変わっていきます。例えば、ヒアリングを進めた結果、「日々価格変動する投資信託を保有する負担からそろそろ解放されたい」という心理が見える場合は、売却による利益確定を勧め、今後は価格変動のない資産で運用することで、「安心」を感じてもらうことが重要です。具体的には投資信託の解約金で定期預金などを作成してもらおうと、とても喜ばれるフォローとなるでしょう。

「満足する利益には達していないが、継続保有することで損をするのもイヤ」というお客様については、現在の金融マーケットや保有ファンドの運用方針などに対する理解が不足しているケースが多いようです。保有ファンドの基準価額が下落する要因を具体的に挙げて、今後の金融マーケットでどのような動向に気をつけるべきか、理解してもらえらるよう改めて説明を行ってください。

そのうえで「今後の金融マーケットを考えると、基準価額が下落

するかもしれない」とお客様が判断すれば、売却してもらおうほうがよいこととなります。こうした判断ができるよう、担当者が十分な情報提供や説明を尽くすことが重要でしょう。

**一部換金を勧めても様子を見てもらうことも**

以上のようなアドバイスを行った結果、売却したいと考えるお客様に対しては、売却後の資産運用方法についてもアドバイスすることが大切です。

特に現在、金融機関で投資信託を保有するお客様は、いわゆるリタイア世代が少なくありません。こうした世代のお客様の多くが毎月分配型ファンドを保有しており、分配金が重要なキャッシュフローになっているともいえます。

仮にそれを「利益が出ていないから」といつか売却した場合、定期的なキャッシュフローが期待できなくなり、「投資信託を保有する楽しみ」がなくなること伝えましょう。意外とこの点を忘れてい

るお客様は多いようです。

また利益が出ていながら売却した後に、同じようなファンドを購入し直すようなケースもよく見られます。購入時手数料を余計に支払うようなことにもなりかねませんので、注意するよう伝えましょう。

ちなみに投資信託は、一部換金可能な金融商品です。お客様の保有ファンドのうち半分を利益確定するために売却して運用益を実感してもらい、残りの半分は継続保有するという選択肢もあります。売却か継続保有か悩むお客様にとっては、これも有効な選択肢でしょう。

### ●ポイント●

- ▶売却か保有で悩むのは当然のこと。真の悩みを理解し、判断材料となる情報提供を行う
- ▶売却する場合は、分配金などのキャッシュフローの変化を説明。利益確定後の資産運用についてもアドバイス